

第4回定例会

・特集 中学生の見る議会②



岡松 悠さん
議会では、町をより良くするための質問をする議員に対し、

**みんなが持っている
町への思い**

今回の傍聴で、議員の方々が町民のために、そして町をより良くしようと努力していることを知り、自分も誰かのために努力することができる人間になろうと思いました。

私は、今回の議会傍聴で、町長や教育長をはじめ、議員の皆さんが少しでも町を良くしようと取り組まれているのだと改めて感じることができました。それは、佐呂間町の魅力をもっと伝えようと、地域おこし協力隊の活動を始めることや、町内での安全対策、自転車に乗る時の安全装備についてなど、町民の暮らしを守るための話し合いが行われていたからです。今回の議会傍聴を通して、学んだことを将来に活かし、私も佐呂間町の良さを沢山の人に伝えられるように頑張ろうと思います。

町民の暮らしを守るための話し合い
橋 心春さん

町長や教育長が具体的な理由を述べて回答していたので、このやり取りが町を良くするための秘訣だと思いました。今回の議会傍聴を通して、町をもっと良くするための取り組みの提案や、今後の課題について考えている町長や議員の皆さんの思いが伝わり、自分自身も町のために何かしたいと改めて思いました。

**教育を通して
心豊かな人を育成する**

佐藤 巧実さん

今回の議会傍聴を通して印象に残ったことがあります。それは、町に必要な人材の育成についてです。

僕は「必要のない人材はいない」という町長の言葉に感動しました。町民のことを思う気持ちが強いのだなと思いました。また、子ども達が未来を切り開くための教育をするということに興味を持ちました。教育をする側・受ける側が協力し合って学んでいくことが大切だと思います。



佐呂間中学校3年生が「総合的な学習の時間」の一環として、12月15日に行われた町議会第4回定例会の一般質問を傍聴しました。本来であれば、生徒たちは議場内の傍聴席から、議員と町長の真剣なやり取りをその場で体験できましたが、昨年度に引き続き、今回も新型コロナウイルス感染症対策として議場での傍聴は行わず、学校の多目的ホールにて、議場で撮影している動画をインターネットを通じて、リアルタイムで視聴する方法で行われました。ここでは、生徒たちの感想文の一部をご紹介します。(紙面の都合上、文章内容の一部を要約しています。)

僕は、議会傍聴で町をより良くするために行われている取り組みについて学ぶことができました。町の予算にも、「サロマ・夢色・魅力・わくわく予算」という名前が付けられていて、サロマの事をより多くの人に知ってもらえるようになるのではと思いました。また、サロマ湖展望台の大規模改修や観光サイトの作成、地域おこし協力隊の採用など、サロマをPRする活動に力を入れていることも知り、サロマに興味を持つ人がもっと増えれば良いと思いました。他にも、議会の中では通学路の安全対策や、自転車に乗る時のヘルメットの着用など、僕たちに身近な問題についても話し合われ、議会の大切さを学ぶことができました。

**より多くの人に
町をPRする取り組み**
大橋 駿一さん

特集 中学生の見る議会